

# 2017年度事業報告書

2017年4月1日から  
2018年3月31日まで

# I. 学校法人概要

## 1. 建学の精神

グローバル化と情報化が加速し政治・経済・社会・文化のあらゆる分野でダイナミックな変化が起きている、21世紀の国際社会においては何より個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められている。それは柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人材の育成にほかならない。

コリア国際学園は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国々と境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指す。そして教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、世界に開かれた国際学校として、東アジアはじめ世界の持続可能な発展に貢献する。

## 2. 教育理念と目指す学校像

- 1) 多文化共生／民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。
- 2) 人権と平和／人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。
- 3) 自由と創造／真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。

建学の精神および教育理念を具現化し、地域社会および国際社会に貢献する人材を育てる学校を目指す。少人数学校の特長を生かし、一人ひとりの学生の生活背景をしっかりと掴み、学びと育ちを支援し、その夢の実現に向けて共に歩む学校を目指す。

来るべき東アジア共同体時代を展望しつつ、それを教育空間に先取りし、多文化共生の成功した学校モデルを提供することを社会に対する責務とする。

3. 名称 学校法人コリア国際学園
4. 住所 大阪府茨木市豊川2丁目13番35号
5. 設置する学校 コリア国際学園中等部・高等部
6. 学科、修業年限並び定員

学科	修業年限	定員
中等部	3年	35名
高等部	3年	35名

## 7. 理事会・評議員会

理事長名	金淳次
理事数	11名
評議員数	17名

## 8. 教職員の現況

	専任	兼任	合計
教員	12名	18名	30名
職員	4名	0名	4名
合計	16名	18名	34名

## 9. 生徒数

	1年	2年	3年
中等部	12名	9名	11名
高等部	26名	21名	16名
合計	95名		

## II. 教育活動状況

2017年度において、コリア国際学園は2008年4月の開校から10年目を迎え、学校発展の新たな出発点とするため、本校建学の精神である「越境人の育成」に立ち返り、運営機構を点検・整備しつつ教育内容の充実を目指してきた。

体育科の新設と在籍生徒数をはじめ100人を超えてのスタートであったが、20名に及ぶ中途退学者が出た状況で、その原因分析と今後対策に努めた。

年度中の10月13日に本校高等部はIBDP認可校となり、IB授業の準備に注力し2018年1月より本格的に実施している。

### 1. 運営機構の整理

校務分掌を、(1) 教務部、(2) 学生支援部、(3) 進路指導部、(4) IB推進委員会、(5) IT管理委員会、(6) 広報委員会、(7) 保健委員会、(8) 対外交流委員会、(9) 管理委員会に改編した。

とりわけ教務部においては教務システムのIT化を進め、授業運営（進度表の作成と結果点検、シラバスなど報告書に基づいた点検評価指導など）、学籍管理、成績管理、試験運営の改善と規定の改訂に力点を置いた。

### 2. 教育活動の充実化

(1) 計画、立案に基づいた教育活動を徹底し、(2) 課題探求型学習の促進、生徒による自学自習姿勢

を根付かせるための指導を行い、(3) 研究授業や相互授業参観を通し、また授業評価アンケートを行うことにより日常的な授業展開に対する点検、評価、指導を行い、(4) 授業の質向上のための外部研修などへの参加を積極的に進めてきた。

### 3. 生徒の学校生活支援

(1) 自主的で創造的な学校生活、集団生活、自治活動を展開できるよう支援し、(2) 個人と集団に対する、尊重心に基づく秩序の確立を目指し、(3) コリア国際学園の生徒として学校生活における自ら学ぶ学習態度、お互いに理解し協力する生活態度、規則・秩序・社会常識を自ら守る校風を確立し、(4) 生徒が自主的に選択し、活動する場としてクラブ活動への参加を積極的に奨励し、(5) 安定した寄宿舎生活のために寮管理委員会による生活指導を強化し、(6) ESD パスポートを活用したボランティア活動を推進した。

### 4. 確実な進路指導の展開

(1) 学校生活を通して人生のビジョンや目標を見つけさせ、適材適所の観点で進路指導を展開することとし、(2) 各教科、その他の教育活動全体と連携し、人と人のつながりの中にあることを自覚させながら、よりよく生きたいと望むよう生徒を支援するため人生観教育と進学・就労教育を推進し卒業後の進路を設計実践するための力を育てるようにした。(3) 進路選択は自分の問題であり自己責任であるという認識をもつよう徹底した指導をし、(4) 創立から 10 年間の進路指導について総括を行った。

### 5. 国際バカロレアの認可校獲得とスムーズな運営移行

(1) 認可校獲得へ向けた作業を完遂し、(2) DP 導入に伴うリソースを確保し、(3) 協力的ミーティングを定期的で開催し、DP 運営に向けた環境整備を推進した。(4) 保護者に対する説明会、模擬授業を定期的で開催し、DP の運営を支える学校コミュニティ作りを強化した。

### 6. 教育環境の充実化に向けた IT 環境の整備

(1) WiFi 環境の設置と IT 機器の運用を整備し、教育環境の充実化を前進させ、(2) IB の導入を念頭に、インターネットの活用環境を改善した。

### 7. 広報活動の活性化と生徒募集活動の強化

(1) 多種多様の広報活動を展開し、本校の社会的知名度を高めることに注力し、(2) 在籍生徒の保護者による学校評価を高め、入学生の獲得に繋げる努力をした。(3) 学校訪問などの生徒募集活動を展開し、生徒募集に繋げることとし、(4) サマースクール、オープンスクールなどの行事を開催し、生徒募集活動を活性化してきた。

### 8. 学校生活の健康面でのサポート体制の整備

(1) 健康な生活習慣の定着化を目指し、保健指導・相談活動の充実を計り、(2) 定期健康診断を実施し、結果を利用して自己の健康管理及び健康増進を高めることとした。(3) 安全指導・安全管理を徹底し、(4) 緊急事態への対処を整備してきた。

## 9. 地域社会との連携・協力体制の強化

(1) 地域社会のコミュニティネット行事に積極的に参加し、地域の取り組みを理解すると共に地域貢献を目指し、(2) 異文化交流を深める機会を与え、他者を理解する力の育成と共に自己成長につなげるよう取り組んだ。

## 10. 学校設備の十全な管理

(1) 校舎保全、教室管理を徹底して、整備された教育環境を目指した。(2) 教育活動に於いて必要な備品を漏れなく供給し、スムーズな学校運営に寄与することとし、(3) 清掃活動の徹底などを通して、生徒の美化、環境意識の向上を図ってきた。

## 11. 本学園の中長期の発展構想の準備と実践

(1) 新理事会体制の強化と財政基盤の安定化させる方針策定に重要な関心をはらい、(2) 「実施計画に基づく具体的実践の展開並びに PDCA サイクルの徹底化を図った。